

平成23年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

ソフトボール教室

1 ね ら い

ソフトボールの技能の習得および指導技術の向上を図るとともに、参加者間の交流を図る。

2 実 施 日

平成24年2月4日（土）～5日（日）

3 活動場所

国立大洲青少年交流の家

4 参加対象・参加者数

ソフトボール選手（小・中・高校生）及び引率者
4日…216名 5日…268名



5 講 師

伊予銀行女子ソフトボール部の皆さん



6 日 程

【2月4日（土）】

13:30 14:00 14:30 17:00 17:30 19:30 21:00 22:30

受	開	実 指	入 所 オ リ	夕 入	交	自	就
付	講	技 導	エ ン テ ー	食 浴	流	由	寝
	式		シ ョ ン		会		

【2月5日（日）】

6:30 9:00 12:00 13:00 15:00

起つ清朝 ど 床い掃食	実 指 技 導	昼 食	実 指 技 導	閉 講 式
-------------------	------------	--------	------------	-------------

7 活動内容

ソフトボールの技能の習得および指導技術の向上をはかることをねらいとして、伊予銀行女子ソフトボール部監督、コーチ、選手による実技指導および交流会が行われた。

初日の実技指導は、捕球や送球など守備の基本練習および走塁練習が中心であった。後半に行われたデモンストレーションのノックでは、選手の身のこなしや送球の速さ、正確さに参加者から感嘆の声が上がっていた。夜は、伊予銀行女子ソフトボール部と参加者との交流を図ることを目的とした交流会を行った。質問コーナーでは、参加者から、技術的なことをはじめ、練習方法やメンタルに関するものなど、数多くの質問が出た。それらの質問に対して、監督やコーチ、選手たちが、身振り手振りを交えながら、丁寧に答えていった。最後は参加者全員でアーチを作り、伊予銀行女子ソフトボール部の監督、コーチ、選手を送り出した。

2日目の午前中は、前日の基本練習を復習しながら、ポジション別のノックも取り入れるなど、少しずつ高度な内容の練習を取り入れていった。午後は、ピッチャーは投球練習、野手はバッティングおよびバント練習に分かれて活動した。

講師の熱心かつきめ細やかな指導により、チーム同士の交流が深まっただけでなく、参加選手はもちろん指導者の知識や技能が向上し、今後の活動につながる貴重な機会となった。